



市民と創造する演劇

穂の国のフランケンシュタイン(仮) —21名の怪物たち—

2020年3月7日[土]—8日[日] / 原作 メアリー・シェリー
穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール / 作・演出 吉田小夏(青☆組)

2019年度の「市民と創造する演劇」は、自身が主宰を務める「青☆組」などで脚本、演出を務める吉田小夏さんを演出に迎え、イギリスの小説家、メアリー・シェリーの『フランケンシュタイン』を元に、公募による出演者の皆さんと共にPLATオリジナルの作品として上演いたします。上演に先立ちまして、出演者を募集いたします。演劇経験のある方はもちろんのこと、未経験の方でも大歓迎です。皆様のご応募をお待ちしております。

出演者オーディションワークショップ <応募締切：7/1(月)17時>

実施日 2019年7月19日[金]・20日[土]・21日[日]

会場：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

『フランケンシュタイン』は、イギリスの作家メアリー・シェリーが若干18歳の時に書いた物語です。ゴシックホラーとして名高いこの小説を書いたのが、道ならぬ恋に身を焦がす若い女性であったことを初めて知った時、私は、この作品の底に眠る新しい可能性を感じました。

この物語に登場する怪物には、最初から最後まで、名前がありません。

怪物の創造者であるフランケンシュタイン博士は、この怪物になぜ名前をつけなかったのか？メアリー・シェリーは、なぜこの怪物の物語を紡ぎあげたのか？あなたなら、どんな答えを想像するでしょうか？

今回、豊橋の地で皆さんとオリジナル作品を創作するにあたって、長年取り上げたいと切望していたこの『フランケンシュタイン』をモチーフに選ぶことにしました。この市民劇の目指す場所は、古典的なモンスターストーリーを演劇の形式で再現することではありません。温かく、切なく、ほろ苦く、時に滑稽で、残酷で、美しい、そんな、人生そのものを一遍の詩にしたような、繊細で瑞々しい演劇を夢想しています。普遍的な言葉の力と、多彩で新鮮な身体を武器にして、私達ならでの、新しい怪物の物語を探す旅をしたいと考えています。この創作の旅に参加してくれる仲間を募集しています。

あなたの中に眠る怪物の名前を、私にこっそり教えてくださいませんか？

吉田小夏

出演者オーディションワークショップ

□オーディション日時＝

2019年7月19日[金]・20日[土]・21日[日]

※19日は応募者全員参加、20日、21日に関してはいずれか一日のみの参加となります。

※オーディションは19日は19:00～21:30、20日・21日は10:00～18:00で調整予定です。

日時はこちらから指定いたします。

□会場＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

□募集人数＝20名程度(いずれも未経験者OK)

□応募資格＝高校生以上で出演者ワークショップ・稽古に極力参加でき、劇場リハーサル期間・本番に全日程参加可能であること。

※稽古期間中は事情に応じてスケジュール調整します。

□参加費＝無料

□応募締切＝2019年7月1日[月]17:00必着

※オーディション、ワークショップ、稽古、本番に際しての会場までの交通費は各自でご負担いただきます。

※18歳未満の方は参加に際して、保護者の同意が必要です。

●応募方法＝専用の申込用紙に必要事項をご記入の上、下記申込先へ郵送していただくかプラット1F窓口へ直接お持ちください。

稽古開始からのスケジュール

①出演者ワークショップ

2019年11月30日[土]—12月1日[日] ※午後・夜間



②第一次稽古

2020年1月7日[火]—13日[月・祝] ※平日は夕方・夜間、土日祝は終日



③第二次稽古

2020年2月8日[土]—2月28日[金] ※平日は夕方・夜間、土日祝は終日



④仕込み・劇場リハーサル

2020年2月29日[土]—3月6日[金] リハーサル・ゲネプロ



⑤本番 会場：主ホール

3月7日[土] 公演①

3月8日[日] 公演②

※劇場リハーサル・本番期間中は必ず参加。稽古期間中は事情に応じてスケジュール調整します。

※3/7-3/8の本番中は終日を予定。

※チケットノルマなど公演参加費は徴収しません。なお、出演料・交通費の支給もございません。

お問合せ

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT

〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町123番地 TEL0532-39-8810 <http://toyohashi-at.jp>

企画制作：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 主催：豊橋市、公益財団法人豊橋文化振興財団

穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 「市民と創造する演劇」担当

2019年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業



